



京都西山 再生 プロジェクト

カブトムシ・オオムラサキ
たちのくらす森



目標額

1,300万円

※10年間で約660本の苗木を植樹・育成するための費用です。

西山の紹介



京都府長岡京市の西域を占める森林を、私たちは「西山（にしやま）」と呼んでいます。都市近郊にありながら貴重な緑の資源である西山は、長岡京市の代表的な景観であり、人々に愛されています。

平成17年からは、森林所有者や市民団体、企業、学識経験者、行政など、様々な主体が連携し、森林保全活動を進めています。

いま、西山が危機に

社会情勢や生活様式の変化などにより、人の手が行き届かない森林部分が**西山全域**に広がっており、様々な問題を引き起こしています。

西山の3つの危機…

暗い森の進行



木々が生い茂り、太陽の光を通さない「暗い森」が広がっています。

暗い森の中では木々の根元に自生する下草などが成長できず、それらをエサとする動物にも影響を与えます。

シカによる食害



増えすぎたシカにより、樹木の新芽が食べられ、新たな植物が育たない環境にあります。

このままでは、シカの好まない植物だけが繁殖する森になってしまいます。

拡大竹林の脅威

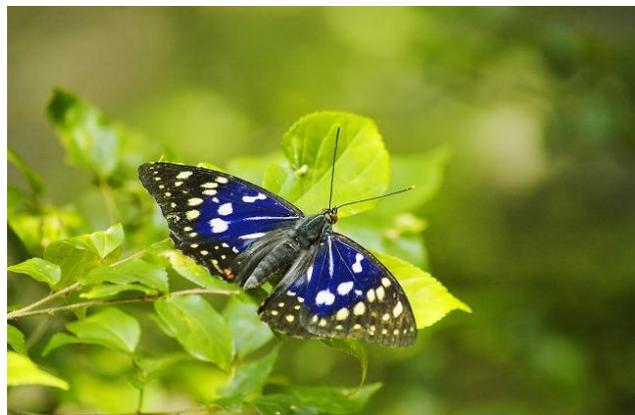


竹は成長速度や繁殖力が高く、手入れがされていない竹林は、山地へと拡大していきます。

他の樹木に比べて根が浅いため、土砂崩れなどの災害の危険性が高まります。

このままでは西山の緑が危ない！

生物多様性に富んだ森づくりを



そこで、西山を「カブトムシ」や「オオムラサキ」など、多様な生き物が暮らすことのできる森として守っていくために、クヌギやコナラ、エノキなどの苗木を植樹し、災害に強く、豊かな森づくりを進めます。

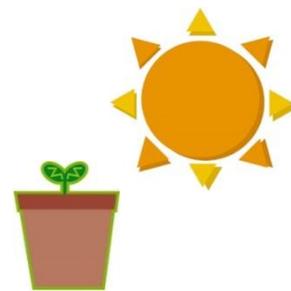


また、通行量の多い道沿いには、景観を彩るヤマザクラやカエデなどの苗木を植樹し、西山を訪れる人々が楽しめるような森づくりを進めます。

取り組み内容

植樹と言っても、ただ苗木を植えるだけではありません。

植える場所の不要木の伐採、植えた苗木をシカの食害から守るネットの設置、日照量を確保するための毎年の草刈り作業など、関連する取り組みがとても大切です。



西山再生への取り組み

—STEP 1—

不要木の伐採

(日照量の確保)

—STEP 2—

シカ対策

(ネット設置)

—STEP 3—

苗木の植樹

(クヌギ・エノキ等)

—STEP 4—

草刈り

(日照量の確保)



これだけの費用が必要です

●西山を襲った台風被害

平成30年9月の台風21号をはじめ、近年の台風や大雨によりプロジェクトエリアも大きな被害を受けました。

当初は、整備にかかる費用として800万円を目標額に掲げていましたが、災害復旧作業等の追加により、さらに500万円の費用がかかることになりました。

目標寄付額：800万円 → 1,300万円

災害により荒れた森を再生するためにも、皆さまのご協力をお願いします。



災害復旧作業：シカの食害防護柵の修繕、倒木の伐採・整理等

寄附をしていただくと



お名前を掲示します！

ご寄附をいただいた方のお名前を、ネームプレートにして、整備エリア内に掲示させていただきます。



植樹活動へご招待！

西山の環境に直接触れていただけるよう、植樹活動へご招待させていただきます。
長岡京市が誇る西山の自然を、ぜひお楽しみください。

皆さまのご協力を、お願いいたします。